

校長室から

「自己有用感」—これは人の役に立った、人から感謝された、人から認められたという感情です。社会の中で自立して生きていくためにはこの「自己有用感」を育み自信を持たせることが必要です。先日、プロ野球選手のイチローが、3000本安打を達成した時のインタビューでこう答えました、「3000という数字よりも、僕が何かをすることで他人が喜んでくれることが、今の僕にとって何より大事なものだということを再認識した瞬間でした。」と。イチローのような大スターであっても、自分が人の役に立っているということが活躍の源になっているんですね。

それでは二中学生の「自己有用感」はどのような状況でしょうか。H27全国調査で「自分には良いところがあると思う」という質問に対し「はい」と答えた二中学生は16%、全国の平均は26%で、10%の開きがありました。また「自分は人の役にたっている」という質問に肯定的な回答をした二中学生はわずか3割程度しかありませんでした。

では子どもの「自己有用感」を高めるにはどうしたらいいでしょうか。それは日常の言葉かけです。ちょっとしたお手伝いに「ありがとう。助かったわ。」という言葉は子どもが大人に言われてうれしい言葉です。また、「あなたのおかげで〇〇できたよ。」と具体的に子どもが時間や労力をかけてくれたことに感謝することも「自己有用感」を育むことになります。2学期に入り、「体育大会」や「合唱コンクール」などさまざまな行事があります。それらを通じて、学校でも生徒たちのがんばりをしっかりと見て、認めていきたいと思います。新学期も学校と家庭が連携して生徒の「自己有用感」を育てていきましょう。

地区別懇談会

ご参加ありがとうございました。

7月21日、22日の遅い時間にもかかわらず、延べ100名近くの保護者が地区別懇談会にご参加いただきました。学校からは、生徒指導、人権教育、学力向上について1学期の状況や取組みについてビデオなどを交えて説明させていただきました。

後半は学年別に分かれて夏休みの過ごし方などについて話をしたり、今の学年の様子について交流を行いました。「学校が落ち着いてきた」、「もっと厳しく指導してほしい」など様々なご意見をいただきました。2学期以降の取組みに活かしてまいります。



がんばりました！PTAソフト・PTAバレー

7月24日にPTAソフトボール大会が、8月7日にはPTAバレーボール大会が開催されました。

ソフトは3回戦まで勝ち進み、見事3位を獲得しました。お父さん方のプレーもさることながら、ベンチの応援もとても力の入ったものでした。

バレーは残念ながら2試合とも負けてしまいましたが、いずれも手に汗握る接戦で、応援している方もとても楽しむことができました。

選手のみなさん、応援してくれたみなさん、どうもお疲れ様でした。



体育大会のご案内

毎年多くのご来賓・保護者・地域の方々にご参観いただき、ご声援いただくことが、子どもたちのたいへん励みになっています。今年も是非、二中学生の頑張り・クラスの団結を見ていただきたいと思います。お誘い合わせてご来校下さい！！

日時： 9月24日(土)
午前9時入場 開会式

※雨天の場合は 9月27日(火)実施

場所： 本校 運動場

1、2年の教室にエアコンがつきます

夏休みに行っていたエアコン設置工事も終わり、9月から1、2年生の教室や分割教室でエアコンが使えるようになりました。しばらくは残暑が厳しいと思いますが、これで快適に授業を受けることができるようになります。その分、しっかりと勉強して成績アップを期待しています。